

感染防止対策チェックリスト（主催者向け①）

全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会受付場所等）に提示すること。
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、参加者の申込用紙は保存期間（少なくとも1ヶ月以上）を定めて保存しておくこと。

大会参加募集時の対応

主催者が参加者に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられます。

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること。（イベント当日に書面で確認を行う）
 - 体調がよくない場合（例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をしている際にはマスクを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者との距離（できるだけ2m以上）を確保すること
- 試合前、試合中、試合後に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 試合終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

当日の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は参加しないように呼びかけること（状況によっては発熱者を体温計などで特定し参加を制限することも考えられる）
- 参加者から以下の事項を記載した申込用紙の提出を求めること
- 氏名、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する
- 参加当日の検温（起床後すぐに検温）
- 参加前2週間における以下の事項の有無（顧問確認）
 - 平熱を超える発熱（平熱+1度以上）
 - 咳、喉の痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 臭覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

感染防止対策チェックリスト（主催者向け②）

大会参加者への対応

□マスク等の準備

- 参加者がマスクを準備しているか確認すること
- 参加の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること（運動・スポーツ中のマスクの着用は、参加者等の判断によるものとする）

□試合前、試合中、試合後の留意事項

- 開会式・閉会式は、行わない。詳細は、本部などに掲示するので、確認すること。
- 試合前と試合終了後の握手はしない。サービスラインあたりで、挨拶・トスを行う。
- 試合中のハイタッチや大きな声を出すことは避けてください。
ただし、セルフジャッジのハンドシグナルは確実に相手にわかるように行うこと。
- ベンチに座る際も、選手同士の距離を保つこと。
- 試合の前後では、必ず、手洗いをすること。
- 試合前、試合後、試合後のミーティング等においては、「三つの密」を避けること
- 会話時にマスクを着用するなど感染対策に十分に配慮すること

主催者が準備すべき事項の対応

□手洗い場所

- 手洗い場には石けん（ポンプ式が望ましい）を用意すること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない）

□更衣室、休憩、待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室できる参加者の数を制限するなどの措置を講じること
- 室内またはスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること

□洗面所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- トイレに蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- 手洗い場には石けん（ポンプ式が望ましい）を用意すること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない）

□観客の管理

- 観客同士が密な状態とならないよう、社会的距離をあけること。
- 大声で声援を送らないことや会話を控えること
- 会話をする場合にはマスクを着用することなどの留意事項を周知すること

□試合会場

- 室内を利用する場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
- 換気設備を適切に運転すること
- 定期的に窓を開け、外気を取り入れるなどの換気をする

□ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石けんと流水で手を洗い、手指消毒をすること

感染防止対策チェックリスト（参加者向け）

参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（試合当日に書面で確認を行う）
 - 平熱を超える発熱（平熱+1度以上）
 - 体調がよくない場合（例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 開会式・閉会式は、行わない。詳細は、本部などに掲示するので、確認すること。
- 試合前と試合終了後の握手はしない。サービスラインあたりで、挨拶・トスを行う。
- 試合中のハイタッチや大きな声を出すことは避けてください。
ただし、セルフジャッジのハンドリングは確実に相手にわかるように行うこと。
- 試合の前後では、必ず、手洗いをすること。
- マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等の運動・スポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- こまめな手洗い、洗顔、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者などの距離（できるだけ2m以上）を確保すること
- 試合中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 試合終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- 試合前、試合中、試合後のミーティング等においては、「三つの密」を避けること

参加者がウォームアップを行う際の留意点

- 十分な距離の確保
 - 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること
※感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
 - 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼吸が激しくなるため、より一層距離を空けること
- 位置取り：走る・歩く場面においては、前の人の呼吸の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること
- 運動・スポーツ中に、唾（つば）や痰（たん）を吐くことは、行わない。
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、指定の場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 飲料水の回し飲みはしないこと